

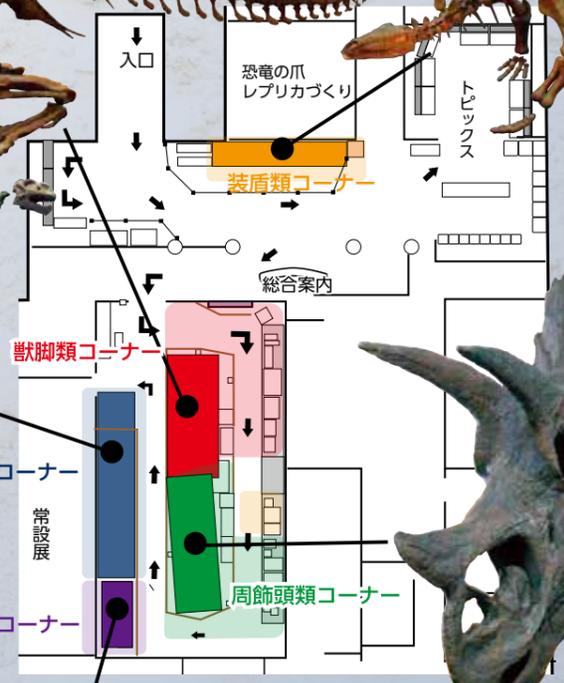
獣脚類
タルボサウルス
国立科学博物館蔵

装盾類
トゥオジアンゴサウルス
群馬県立自然史博物館蔵

竜脚形類
マメンチサウルス
群馬県立自然史博物館蔵

鳥脚類
ラブドドン
栃木県立博物館蔵

周飾頭類
トリケラトプス
三重県総合博物館蔵



開催まで何度も見直された会場のレイアウト。会場の至る所に恐竜の標本が展示されている



9月24日まで那須野が原博物館で開催されている大恐竜展Ⅱ。展示されている恐竜の大きな全身骨格は、息をのむほどの迫力だ。普段からさまざまなモノに光を当て、物語を紡ぐ地域の博物館。今回の特集では博物館そのものに光を当て、その物語を紹介したい。

じられるように試行錯誤した。標本のおおまかな寸法は資料から把握できるものの、体の伏せ具合や尻尾のうねり方などは実物を見ないと捉えきれない。そのため、休みの日に各地の博物館へ実物の標本を見に足を運んだという。

配置計画を何度も練り直し、恐竜の組み立て作業当日を迎えた。「組み立てられた恐竜がきちんと配置されるまでは、本当に不安で眠れないほどでした」。計画通りの場所にたまたまむ大迫力の恐竜たちに囲まれた彼の顔には、自然と安堵の笑みが浮かんでいた。

太古から続く生命の連鎖

約9千種。現在の地球上に存在する鳥類の種の数だ。1億年以上前から大きな絶滅期を乗り越え、少しずつ姿を変えながら絶えることなく命が繋がってきた。「私たちの身近にいるカラスやスズメなどの鳥も恐竜の一部と考えると、少し印象が変わりませんか」。同様に全ての生物は、太古の時代から連鎖と続く生命の連鎖の中に存在しており、その一部に私たち人間がいる。全ての生命は私たちと同じようにかけがえないものなのだ。大恐竜展を見ながら、命のつながりに思いを巡らせるのも一つの楽しみ方かもしれない。



多和田 潤治氏
那須野が原博物館 学芸員

進化の可能性に挑み続けた恐竜の生命力を感じて欲しい

描いたのは恐竜の多様性

「なかなか見ることのできない恐竜の迫力を肌で感じて欲しい」。そう語るのは、今回の大恐竜展Ⅱを手掛けた多和田学芸員。7年前の恐竜展を終えた時から、もう一度開きたいと漠然と考えており、2年前から本格的に準備を積み重ねてきたという。

少し前までは絶滅したと考えら

君だけの化石をゲットしよう 恐竜の爪 レプリカづくり

- ▶開催日 土曜・日曜・祝日
- ※8月6日～27日は毎日開催。
- ▶時間 午前9時～11時30分、午後1時～4時
- ▶費用 100円～200円
- ※爪の種類は週ごとに替わります。
- ※当日の観覧券が必要です。



体験者インタビュー
鈴木 晴路くん

恐竜が大好きで、白河市から来たという鈴木くん。制作した爪にあえて傷をつけ、恐竜が戦った跡を再現したという。開催期間中に「もう一度来たい」と話してくれた。



完成までの試行錯誤

5グループ全てを展示するにあたり障壁となったのは、展示スペースの問題だった。限られた空間で、標本の安全と来館者の動線を両立しつつ、恐竜と一体感が感じられてきた恐竜。しかし、最近の研究によって、鳥は恐竜の1グループであることが明らかになっている。「今回の恐竜展では、進化の過程で枝分かれした5つのグループ全てを展示し、恐竜の多様な姿と特徴をひと目で分かる内容にしたかった」。獲物を捕食するための鋭い歯を持ち、頭骨が異常に発達した恐竜や、捕食者から自分を守るため大型化した恐竜など。少しずつ枝分かれしながら、多様性が生まれていく様子が分かる内容になっている。

那須野が原博物館

▶住所 三島5-1

▶開館時間 午前9時～午後5時

▶観覧料 一般300円、高校生・大学生200円、小・中学生100円

▶問い合わせ ☎0287(36)0949